

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>手法等の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ参加者のアイデアをもとに、複数の社会実験を実施していると認識しています。 ・このプロジェクトは、今後の市民生活にとって必要なものになりうると思います。まだ始まったばかりであるので試行錯誤の状況にあると思いますが、引き続き推進して下さい。 ・現在は、社会実験等が自粛になっていますが、今後も引き続き実施する必要があると思います。 ・条件的に大都市と異なり難しい事業と思いますが、目指す目的、成果は是認できます。 ・現行の事業の方向性については理解できるが、目的達成のための意欲が見えてきません。社会実験をやること自体が目的化しているように思われます。 ・いつまでに何をするかといった、時間軸が不透明です。 ・事業の終了年度を明確にし、集中して行うべきです。 ・ワークショップはプレイスメイキングの研修会、講習会のように見受けられます。市民生活の向上に繋がるか疑問があります。 ・まだまだ市民に知らされていない事業なので、多くの市民に、まず知ってもらうことを考えるべきです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAに基づきまとめられておりますが、やはり新しいプロジェクトには、PDC Aの後にもう一度C(チェック)を入れ検討することを希望します。そしてやはり、いつまでに完了するのかマイルストーンをきちんと市民に公表すべきです。そうすれば一般市民からも色々なアイデアが出ることも考えられます。 ・引き続き事業を実施する中で、できるだけ多くの市民に佐久市のまちづくりに関心を持ってもらえるようにして欲しいと思います。 ・民間事業者が活用したくなる仕掛けが重要だと思います。かつて、佐久平駅 蓼科口で飲食店の屋台が出店していたことがありましたが、そういう催し等とジョイントさせて行うことも如何かだと思います。 ・できる限り民間に委ねるべきだと思います。 ・出されたアイデアは検討の上、いつまでに何をやるかの時間軸を決め、早い実現を目指して欲しいと思います。 ・ワークショップで出されたアイデア等は公共施設の指定管理者に提供し、その採択は指定管理者に委ねるべきです。 ・新しい分野の事業で成果が出るまで時間が必要と思うが、色々アイデアを出しながら、今後とも努力して欲しいと思います。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>手法等の見直し</p>	<p>民間事業者が自ら継続して事業を実施していけるような仕組みづくりや、協力体制を構築することで、市としての関わり方を見直します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の状況を振り返り、改善点を踏まえ、民間事業者が自ら継続して事業を実施していけるような仕組みづくりや、協力体制の構築に向けたスケジュールの検討及び調整を進めていきます。 ・過去に事業を実施した民間事業者の意見を収集し、ワークショップ等で共有することで、公共施設の利活用について、民間事業者の自発的な活動へとつなげていきます。 ・社会実験等を行うことで、市民の方のまちづくりへの関心を高めると共に、民間事業者が将来的なビジョンを持ち、主体的に事業を実施して行けるよう働きかけます。 ・ワークショップでいただいた意見等を周知することで、公共施設の指定管理者をはじめとする方々が参考に事業を実施して行けるよう支援します。